

さいたま医療センター・アニュアルレポート 2023の刊行にあたって

自治医科大学附属さいたま医療センター
センター長 遠藤 俊輔



日頃は自治医科大学附属さいたま医療センターの運営にご支援を賜わり、心より感謝申し上げます。

さいたま医療センターは平成元年に85床で開設以来、新たな診療科の増科と増床を重ね、現在は628床、20の診療科を掲げ、高度急性期病院として、総合診療体制の特徴を生かしつつ、各分野のエキスパートによる診療で安全で確実な治療を地域の皆様に提供しております。

2023年5月には新型コロナウイルス感染症が感染症法上5類に変更になりましたが、今後新たな新興感染症が勃発しても通常診療を継続し、安心して受診いただけるよう万全の感染対策を継続してまいりますので引き続きご理解とご協力をお願いいたします。また、2024年4月に医師の働き方改革が本格的にスタートし、当センターではこれまで以上に院内の多職種間の連携、加えて近隣の医療機関及び介護福祉施設、行政機関との連携を強化し、持続可能な医療の提供に努めてまいります。

今後ともご指導ご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。